



▲は虫類などが色とりどりに描かれました

飼育施設(展示してない一時的な飼育場所)で飼育管理されます。また、閉館後の跡地はアフリカ園と一体的に整備され、アフリカ地域の肉食・草食動物の集約

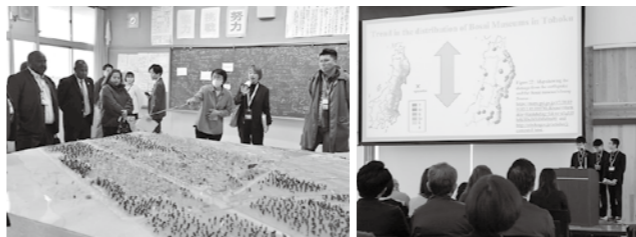
八木山動物公園フジサキの杜では、老朽化した施設の長寿命化と園内の魅力向上を目的とした再整備を進めています。それに伴い、カメラやヘビなどを展示する、は虫類館が11月4日に閉館しました。閉館を前にした10月16日、は虫類館さよなら特別イベント「おえかき爬虫類館―壁に思い出を描こう!」が開催されました。これは昭和53年の開館から多くの人に親しまれた、は虫類館の最後の思い出づくりのために企画されたもの。当日は家族連れを中心に100人以上が参加し、は虫類館の内壁等に思い思いに絵やメッセージを描いていました。参加者からは、「家族で何度も来ていたので、寂しい」という声が聞かれました。これまで、は虫類館で飼育していた動物は他園への搬出の他、裏飼施設(展示していない一時的な飼育場所)で飼育管理されます。また、閉館後の跡地はアフリカ園と一体的に整備され、アフリカ地域の肉食・草食動物の集約

市政トピックス

46年間の感謝の気持ちを込めて―は虫類館閉館



▲会合の様子



▲(写真左) 震災遺構の荒浜小学校を視察する様子(写真右) サミット開催を記念し、市民向けの講演会も開催。高校生による発表などが行われました

市政トピックス

「仙台声明」採択―観光レジリエンスサミット開催

11月9日から11日まで、仙台国際センター等を会場に国際会議「観光レジリエンスサミット」が開催され、アジア太平洋地域から日本を含め10カ国と7つの関係機関が参加しました。10日に行われた閣僚級会合では、自然災害等の危機に対する観光分野の強靱性(レジリエンス)の強化をテーマに議論を展開。各地域の特徴を踏まえながら、直面し得るリスクを把握・評価し、観光分野に活用することなどを盛り込んだ共同声明「仙台声明」が採択されました。会合には市長も出席し、本市の東

市政トピックス

日本大震災からの復興や防災環境都市の取り組み等を紹介しました。期間中、各国の参加者をおもてなしするため、さまざまな企画を実施。仙臺緑彩館で着付けなどの日本文化の体験が行われたほか、秋保地区での歓迎イベントでは、地元食材を使った料理の提供に加え、仙台すずめ踊りなどが披露され、参加者は仙台・東北の食や文化を堪能していました。会合後には、市内や東北各地の観光地を巡るツアーを開催。震災遺構仙台市立荒浜小学校や仙台商みの杜水族館等を見学し、震災による被災の状況やそこからの復興・にぎわい創出の取り組みについての説明に、参加者は耳を傾けていました。今回の会合を契機に、国際社会に向けて仙台・東北の観光の魅力をもPRし、東北全体の交流人口の拡大につなげていきます。

市政トピックス

世界に選ばれる都市の実現に向けて―フイリピン、タイ訪問

市では、国内外から選ばれる都市を目指し、防災をはじめとする

展示を行うエリアとして令和10年度に完成する予定です。

市政トピックス

優れた技能と長年の功績をたたえて

市では、長年にわたり優れた技能で市民生活を支え、仙台のまちづくりの基礎を築いてきた技能職の方々の技能功労者として表彰しています。11月11日に行われた技能功労者表彰式では、21職種34人の方々を表彰しました。表彰された方は次のとおりです(順不同・敬称略)。

- 〔印刷製本職〕高野茂勝、中西大介、佐藤雅彦〔ガラス職〕熊谷博志〔フリーニング師〕紺野田治郎〔写真師〕中野美恵子〔鍼灸マッサージ師〕澤俊博〔造園職〕齋藤健、江刺博〔大工職〕佐藤慶一、小泉秀明、板倉俊晴〔タイル張職〕土井裕司〔畳職〕宇津江勤〔調理師〕萩原健一、斎藤裕二〔電気工事職〕阿部吉生、佐藤武〔塗装職〕熊谷友紀〔とび職〕鈴木順勝、佐々木幸司、今野和弘〔配管職〕井上修〔板金職〕土屋功、芳賀春一郎〔美容師〕平塚裕子、伊藤千代子〔洋裁師〕佐藤三津〔理容師〕星聡、氏家真一〔和裁士〕千坂寿光〔鉄筋工〕鈴木真也、伊藤昭芳〔建設機械施工職〕後藤弘

本市の取り組みの発信や、誘客促進等に取り組んでいます。

10月17日、フイリピンの首都マニラで開催された「アジア太平洋防災閣僚級会合」の全体会合の一

つに市長が登壇し、自治体が地域の多様な主体と連携しながら防災

に取り組みことの重要性などを発信しました。会合の最後には、国

連防災機関から、都市の強靱化において高い知見を有する都市とし

て「MCR2030レジリエンス・ハブ」に認定されました。こ

れは本市の防災環境都市づくりの取り組みなどが評価されたもので、

国内では初の認定です。今後本

市が培った知見等を発信し、世界の防災の発展に貢献していきます。

また、10月29日から11月1日にかけて、市長をはじめとする訪問

団がタイの首都バンコクを訪問しました。今回の訪問では、名取

問し、視察や意見交換を行いました。引き続き、観光交流をはじめ、

ビジネスや介護人材の確保など、さまざまな分野でのタイとの交流

促進に取り組んでいきます。

10月20日から27日まで(23・24日を除く)、地下鉄国際センター

駅から仙台城跡までの区間において、自動運転バスの運行実験を

実施しました。

これは青葉山エリアの回遊性向上に向け、東北大学や民間事業者

と連携して取り組んでいるものです。今年2月には、事前調査として

自動運転技術を搭載したEVバス(電動バス)を手動で運行。今

回は原則アクセルやブレーキ、ハンドルをシステムが制御し、緊急

時は同乗の運転手による手動運転に切り替える形で運行しました。期間中には、観光客など延べ983人が乗車し、乗り心地等を確認して

市長コラム

春夏秋冬

仙台市長 郡 和子

データを使って、レッツ！健康づくり

減塩しようゆ・みそ・ソース、無塩パンにカローリーハーフのマヨネーズ・ケチャップ・カレー、糖質ゼロの中華麺・パスタ・そばetc.。近所のスーパーで、これらの商品が並ぶ棚の面積が増えていることに気が付きました。私自身これまであまり関心を持たずにいたからでしょうか、健康志向の食品が増えていることに驚きました。

高齢夫婦のわが家も健康のためにと、あれこれ物色し始めています。また「食品表示」は詳細に見ることを心がけるようにもなりました。パスタ等の麺類は、低糖質の小麦粉商品ばかりでなく、こんにやくやおからで作られているものもあり、なるほど、これなら小麦アレルギーの方も安心してパスタ料理を楽しめる！と感心しています。宗教上食べられない食品の代替食品の開発も進んでいて、先日、お肉ではない、しかし、まさにお肉のようなハンバーガーを食べました。そのおいしさと食感には驚かされました。

さて、仙台市は「健康の都 せんだい」の推進に取り組んでいます。本市は他の政令市と比べ、メタボリックシンドローム該当者・予備群が多いのが特徴で、このほど新たにPHRを活用したプロジェクトを立ち上げました。「せんだい My Health Log」です。PHRとは、パーソナル・ヘルス・レコードの頭文字で、個人の健診結果や処方薬などの情報のこと。アプリを活用しながら、歩数・食事などを記録・管理することで、健康づくりのアドバイスや未来の健康予測が受け取れ、頑張れば抽選でオマケももらえるというものです。

私も朝の散歩を日課にして歩数を増やしているのですが、成果はまだまだ先のように。しかも、これから年末年始を迎え、寒さも厳しくなり、おいしいものを食べる機会も多くなり…。健康第一！PHRを上手に活用し、「心」を強く持つて楽しみながら頑張ります。

● 次回の掲載は3月号を予定しています